

人文書・歴史書 ご担当者 様

有志舎の新刊です。2023年4月下旬刊行

「スキャンダル」の時代の知識人と民衆

—新人会・白蓮事件・アジア主義—

雨宮史樹 著

A5判・ハードカバー・288ページ 本体価格 6,000円

「スキャンダル」と「大衆社会」、そしてアジア主義との関係を問い直す！

【目次】

- 序章 大衆社会化に対する再検討
- 第一章 「社会」発見の時代と宮崎龍介
- 第二章 「スキャンダル」から見る一九一〇年代後半の社会構造—差別と断絶—
- 第三章 青年知識人と白蓮事件
- 第四章 社会と白蓮事件
- 第五章 「スキャンダル」が頻発する時代の社会構造—社会にはしる亀裂—
- 第六章 大衆社会という幻影—新人会出身者の東アジア観—
- 第七章 満州事変と「大衆」の発見
- 終章 形成されえない大衆社会

〈著者紹介〉雨宮史樹（あめみや ふみき）：1985年生まれ、明治大学大学院教育補助講師、日本近代史専攻。

～版元から～ 1918年、東京帝大では宮崎龍介などを中心に、虐げられた民衆の権利獲得を謳う学生団体・新人会が結成されました。1920～30年代を大衆社会状況と捉えた彼らは、青年知識人特有の情熱とエネルギーで社会の改良を行うべく奔走していきます。しかし、白蓮事件などの「スキャンダル」を利用した情報操作を含む彼らのメディア戦略は強い啓蒙的性格を帯び、やがて上からの社会統制への志向と表裏一体になっていきます。さらにそれは日本の大陸侵略とアジア主義を肯定し、近衛新体制にも連なっていました。より良き社会を目指した青年たちの夢と蹉跌を通して、ついに大衆社会が形成され得なかった戦前日本社会の実像を描き直します。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	「スキャンダル」の時代の 知識人と民衆 —新人会・白蓮事件・アジア主義— 雨宮史樹 著	日本史（近代）
	ご担当 様	A5判・ハードカバー、288ページ 本体価格 6,000円 新刊 ISBN 978-4-908672-63-7 C3021	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。

ご注文は (株)JRCへ

返品条件付注文です。

FAX: 03-3294-2177

電話: 03-5283-2230